

コモンズ30ファンド コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式



渋澤と伊井の想い

【平和とは長期投資と共感で実現する】

こんにちは。渋澤健です。5月19日～21日にG7広島サミットが開催されます。広島は人類の世界平和の想いを象徴する聖地だと思いますので、様々な地政学リスクに晒されている現在の世の中に、最も相応しい場所においてタイムリーな開催地です。

そのような世界的イベントに先立ち、コモンズ投信は4月9日に、広島でコモンズピースサミット2023を昨年度SEEDCap応援先のNPO法人PCVと共催し、前日の8日にはPCVのご案内でPeace Park Tour by PCVに参加しました。

(コモンズ平和ジャーニー2023の様子はこちらからご覧ください:<https://youtu.be/XTCSBwhll9o>)

広島平和記念公園には何回も訪れていますが、次世代の若手ガイドの語りで、今まで自分が知らなかったことの学びが多々ありました。

また、ツアーと一緒に参加いただいたコモンズのお仲間（コモンズ投信では受益者を親愛を込めて「お仲間」と呼んでいます）は親子連れも複数いらっしゃいましたが、誕生をきっかけにコモンズ子どもトラストの口座を開設してくださった常連のお子さんは、もう中学生。このようにお子さんの成長を実感することができる運用会社は、コモンズ投信の他にないのではないかと感慨深かったです。

GWで全国各地での同じ現象になると思いますが、平和公園でのインバウンドの外国人が多いことが印象に残りました。リノベーションした広島平和記念資料館の8～9割ぐらいが外国人というイメージでした。外見、言葉など異なるところは多いですが感情は同じ。ここに、人類への希望を感じました。

そして、9日のコモンズピースサミット2023@広島は豪華な三部構成のトークセッションでした。ビジネスの部はおたふくHD社長の佐々木茂喜さん。政府の部は外務省でSDGs担当課長の松本好一朗さん。そして、地域を活性化する若手事業者の部は昨年の社会起業家フォーラム登壇者のナオライ社長の三宅紘一郎さんとPCV専務理事で共催者の住岡健太さん。とても楽しい有意義な時間を過ごすことができました。

(コモンズピースサミット2023の様子はこちらからご覧ください:<https://youtu.be/L77tdHSMMUA>)

78年前に笑顔が永遠に奪われてしまった人々がいた同じ場所で、笑顔が多い一日を過ごせたことに、人間力を感じました。長期投資に必要なのは学びです。また、長期投資には平和が必要です。そして、平和に不可欠なことは学び、そして、一人ひとりの平和への想いです。

平和記念館で涙を流したのは、地域、文化、宗教、国を問わず。人間の感情は様々な垣根を超える共感、つまり、コモングランドです。平和とは、このような長期投資と共感で実現すると今回のコモンズピースサミットで感じ入りました。



取締役会長 渋澤 健

コモンズ30ファンド

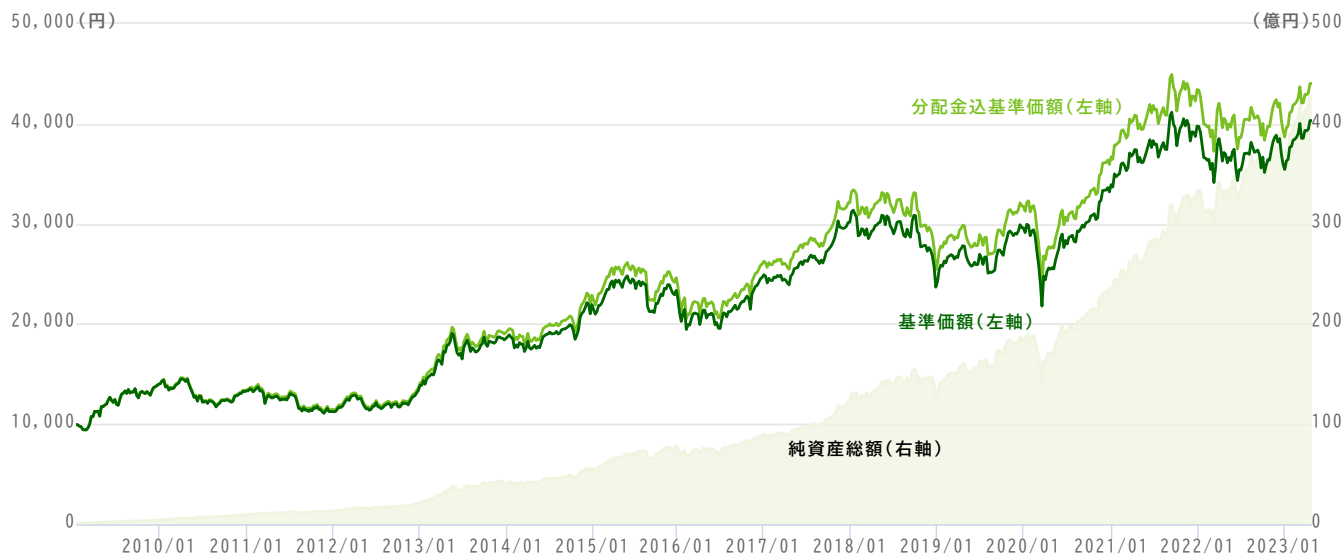
■格付投資情報センター「R&I ファンド大賞 2023」
投資信託10年／国内株式コア カテゴリー 優秀ファンド賞
2年連続受賞！





基準価額の推移

2009年1月19日 ~ 2023年4月28日



※「分配金込基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により通減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%(消費税込)です。



運用実績

2009年1月19日 ~ 2023年4月28日

基準価額

40,723 円

(前月末比)

+877 円 (2.20%)

純資産総額

430.8 億円

(前月末比)

+11.0 億円 (2.63%)

騰落率(分配金込)

| 期間 | 騰落率 |
|-----|---------|
| 1ヵ月 | 2.20% |
| 3ヵ月 | 7.78% |
| 6ヵ月 | 11.30% |
| 1年 | 9.45% |
| 3年 | 57.40% |
| 5年 | 38.26% |
| 10年 | 140.14% |
| 設定来 | 344.55% |

分配金(1万口当たり、税引前)

| 決算期 | 分配金 |
|---------|--------|
| 2019年1月 | 0円 |
| 2020年1月 | 250円 |
| 2021年1月 | 300円 |
| 2022年1月 | 0円 |
| 2023年1月 | 0円 |
| 設定来合計 | 1,910円 |

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

| | |
|-----|-------|
| 株式 | 93.8% |
| その他 | 6.2% |

未来コンセプト別比率

| | |
|-----------|-------|
| 生活ソリューション | 14.0% |
| ウェルネス | 14.0% |
| 精密テクノロジー | 13.6% |
| 資源・エネルギー | 11.4% |
| 新素材 | 9.6% |
| 快適空間 | 9.5% |
| 未来移動体 | 6.3% |
| 地球開発 | 6.3% |
| ライフサイクル | 5.7% |
| 社会インフラ | 3.4% |
| その他 | 6.2% |

組入上位10銘柄

| 銘柄 | 未来コンセプト | 銘柄概要 | 組入比率 |
|-------------|-----------|---|------|
| 1 味の素 | ウェルネス | 「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す | 4.3% |
| 2 丸紅 | 資源・エネルギー | 規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに | 4.3% |
| 3 三菱商事 | 資源・エネルギー | 変化に強い組織力で、進化し続ける | 4.2% |
| 4 信越化学工業 | 新素材 | 戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性 | 3.9% |
| 5 KADOKAWA | 生活ソリューション | IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける | 3.8% |
| 6 デンソー | 未来移動体 | モビリティ社会で価値を創造し続ける | 3.7% |
| 7 セブン&アイ・HD | 生活ソリューション | 変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す | 3.7% |
| 8 ディスコ | 精密テクノロジー | kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー | 3.5% |
| 9 コマツ | 地球開発 | 世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力 | 3.5% |
| 10 ダイキン工業 | 快適空間 | 省エネ技術でカーボンニュートラルに貢献 | 3.5% |

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

4月のファンドの月間リターンは+2.20%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

4月の内外株式市場は、3月に発生した欧米での金融危機対応の進展、米国景気減速に伴う物価下落期待の高まりなどから株高となりました。米国での金融不安は完全には払拭されていませんが、資金調達市場での緊張緩和のためFRB（米連邦準備制度理事会）による流動性の供給を株式市場が好感した印象です。国内株式市場では、植田日銀新総裁が現行の金融政策を当面維持する姿勢を示したことで、市場に安心感をもたらした株価の上昇につながりました。為替も、日本銀行のスタンスを確認したことで円安に傾き株価をサポートしました。また、著名投資家のウォーレン・バフェット氏が来日し、日本株の魅力を語ったことも話題となりました。

当ファンドは、月間で+2.20%の上昇、投資先30銘柄中26銘柄が値上がり、4銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+2.70%の上昇、日経平均株価も+2.91%の上昇となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、93.8%と前月比▲0.4%の低下となりました。個別銘柄の月間騰落率ではマキタ+16.46%、資生堂+10.03%、楽天G+9.93%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、信越化学▲9.64%、堀場製作所▲5.69%、東京エレクトロン▲3.40%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は味の素、ディスコ、丸紅、ユニ・チャーム（銘柄コード順）の4銘柄、年初来高値を更新した銘柄は12銘柄ありました。

当面の株式市場は、企業業績の発表を確認しながら、世界的な景気動向を注視する展開が続くようです。さて、おかげさまで、当ファンドは、「R&Iファンド大賞2023」（投資信託10年/国内株式コア）部門にて、2022年に続き優秀ファンド賞を受賞することが出来ました。定量評価のみによる客観的な基準に基づき、優れた運用成績を示したファンドを表彰するアワードで、受賞ファンド数は国内公募投信約6,000本のうち約2%です。これも皆さまからの継続的な積み立て投資によるご支援があってこそです。長期投資ファンドが、10年部門で大賞を受賞したことはとても意義があると思っています。改めて御礼申し上げます。引き続き、丁寧な運用を続けてまいります。どうぞ、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◎新NISA一億総株主時代の幕開け～長期投資でつくる私たちの未来～

わたしたちコモンズ投信の新NISAに対するスタンスと取組みについてのメッセージをまとめました。新NISAが「誰もが当たり前資産形成を行う時代」を大きく後押しするものと考え、その中で私たちは資産形成のその先にあるお仲間一人ひとりの幸せの実現に寄り添える存在でありたいと思っています。今後のコモンズ投信に、ぜひご期待ください。

<https://www.common30.jp/customer/1599/>

◆2023年4月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/kWPX4shRTP8>

2023年4月次運用報告動画



投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (7267) ホンダ

ホンダのビジネスアップデート説明会が4月26日に開催されました。取締役代表執行役の三部社長が、Hondaが目指すモビリティ、収益体質強化の取り組み、半導体不足への対応、電動化領域の取り組み、などについて説明しました。

目指すモビリティでは、パワーユニットのカーボンニュートラル化、リソースサーキュレーション、エネルギーマネジメント、AD/ADAS（自動運転/安全運転支援技術）、IoTコネクテッド、を5つのキーファクターと定めています。EV（電気自動車）化を進めるうえで最も重要となる電池については、液体リチウムイオン電池はジーエス・ユアサ・コーポレーションと、半固体電池は米ベンチャーのSESホールディングスと共同開発、全固体電池は独自開発と説明。半導体の安定調達では台湾TSMCとの協業を発表しました。

現状、EVについては、海外勢が先行していますが、**2020年代後半とみられるEV市場の拡大期にはホンダが先行メーカーに追いつくことを期待**します。

シニア・アナリスト 上野 武昭

■ (6301) コマツ

コマツは、4月28日に2022年度通期実績及び2023年度通期計画を発表しました。2023年度通期予想は売上高3兆3,820億円(前年同期比▲4.6%)、営業利益4,910億円(前年同期比+0.1%)とし、前期比で減収微増益の計画を見込んでおります。当期の想定為替レートが各通貨において前期比円高に見直したことで、また製品需要の物量減少（ロシア事業の縮小含む）を値上げで挽回するシナリオです。同業他社比では、**段階的な値上げ余地が残されていることも、近年の同社の経営の強みの源泉**と考えております。

事業環境自体は前年の旺盛な建設鉱山機械需要に比べると、今年はその反動もありやや弱含むことが見込まれます。ただ、地域別や製品別では強弱入り混じった状態であり、同社の成長ストーリーは揺るがないと考えます。

鉱山機械事業は北米において大口の受注が想定されていること、欧州では建設機械需要は受注残が旺盛であること、また昨年M&Aを実施した鉱山機械事業の展開が期待されます。インドネシアにおいては世界的な金利上昇による建設機械の最終需要が弱含む想定ですが、依然として鉱山機械事業は堅調に推移しております。

資源メジャー（資源の採掘や精製などの権益を保持している企業）の中長期で安定した投資計画に支えられていることが主因ですが、このような外部環境のみならず**収益性、安全性、環境性を意識した鉱山事業の構築が確固たるものとなり安心感**があります。

アナリスト 古川 輝之

■ (4063) 信越化学工業

信越化学工業が発表した2023年3月期決算では、売上高が前期比35.4%増、営業利益が同47.6%増となりました。ともに過去最高となる好決算ではありますが、第3四半期決算までの進捗から通期の営業利益が1兆円の台に乗る可能性もあると考えていたところからすると、9,982億円ということで僅かに届きませんでした。主に塩化ビニル樹脂事業を手掛ける米国シンテック社の業績は、北米における塩ビ市況の上昇を受け、年度の前半に大きく伸長しましたが、年度の後半にかけては市況下落の影響を受けました。

また、もうひとつの柱となる事業である半導体シリコン事業についても、年度の後半にかけて顧客の在庫調整の動きが見られ、需要回復までは少し時間がかかりそうです。同社は2024年3月期の業績予想を発表していませんが、足元ではこのような逆風となっている環境下で、2023年3月期並みの利益を期待することは難しいとしても、どこまで近づけることができるのか、**まさに同社の地力が試される1年となり**そうです。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介



コモンズ30ファンドが「R&Iファンド大賞2023」2年連続受賞

「コモンズ30ファンド」が「R&Iファンド大賞2023」（投資信託10年/国内株式コア）部門にて、優秀ファンド賞を受賞し、2022年に続く連続受賞となりました。

「R&Iファンド大賞」は日本を代表する格付会社である株式会社格付投資情報センター（R&I）の定量評価の枠組みを活用し、『中立・公正』な立場から、定量評価のみによる、客観的な基準に基づき、優れた運用成績を示したファンドを表彰するアワードです。受賞ファンド数は国内公募投資約6,000本のうち約2%です。

2009年の運用開始以来、お仲間（コモンズ投信では受益者を親愛を込めて「お仲間」と呼んでいます）の皆さまとともに大切に育ててきたコモンズ30ファンドが、昨年に続き、「投資信託10年/国内株式コア」部門で「優秀ファンド」として表彰されたことは、望外の喜びです。

今後もお仲間の皆さまの資産づくりのお役に立てるファンド運営を役職員一同力を合わせて行って参ります。

コモンズ投信株式会社 代表取締役社長 兼 最高運用責任者 伊井哲朗（いい・てつろう）コメント



昨年に続き、10年部門のファンド大賞を受賞出来ましたことに、皆さまに心から感謝申し上げます。

私たち役職員一同も本当に嬉しく思っております。

コモンズ投信は、“誰もが長期的な資産形成が出来る長期投資のファンドを創ろう。世代を超える30年目線”。との想いで創業しました。その為にも、人気のテーマを掲げて資産を集めるようなベストセラーファンドは決して狙わず、誰からも永く愛されるロングセラーファンドを目指してきました。ですから、この度の10年を超える投資信託の中で優秀賞に選ばれましたことは特に感慨深いです。

今回の受賞は定量的な測定によるものですが、この運用成績を支えている背景には、積立投資を中心とした資金流入の継続があります。著名投資家のバフェット氏も言うように、運用成績を高めるためには、そのファンドのコンセプトに合った良質な運用資金を集めることがとても大切です。

当ファンドは開始してから15年目を迎えています。3月末時点で171ヵ月の運用期間のうち約90%の期間に相当する156ヵ月で資金流入（お仲間の皆さまからの資金流入増）となっています。単純計算で1年のうち11ヵ月で資金流入が続いていることとなります。それを15年近く！10年を超えてもなお、運用成績がいい理由はここにあります。多くのお仲間の皆さまからの積立投資による継続的な資金流入がこの運用成績を支えているわけです。

まさに、今回の受賞はお仲間の皆さまが受賞されたと言っても過言ではありません。

この受賞の喜びをお仲間の皆さまと一緒に分かち合いたいと思います！



コモンズSEEDCapからのお知らせ

【コモンズ平和ジャーニー&コモンズピースサミット2023を広島にて実施】

◇コモンズSEEDCapに関して詳しくはこちら

→ <http://www.common30.jp/fund30/seed>

4月8日～9日、コモンズSEEDCap（社会起業家応援プログラム）の第13回応援先 NPO法人 Peace Culture Village（以下、NPO法人PCV）住岡健太さん、同団体メンバー、そして当社ファンド受益者を中心とする参加者と共に、「平和のために、今、自分は何ができるのか？」を考えるコモンズ平和ジャーニー&コモンズピースサミット2023を広島にて開催しました。

○コモンズ平和ジャーニー

全国各地のコモンズのファンド受益者を中心とした10代から60代まで16名（うち親子4組）、および、コモンズ投信から会長の渋澤健とソーシャル・エンゲージメント・リーダーの馬越裕子が参加しPCVがリードするPeace Park Tour*にて平和記念資料館、平和記念公園、原爆ドームを訪れ、被曝電車の貸切体験などをしました。
ダイジェスト動画「コモンズ平和ジャーニー2023」<https://youtu.be/XTCSBwhll9o>



*Peace Park Tour by PCV

1945年8月6日に広島で起こったことについての基本的な知識に加え、広島が経験したことから私たちは何を学び、どう生きていくのかを、小学生から大人まで、ピースパディ（ガイド）と共に対話しながら向き合う内容。



○コモンズピースサミット

ジャーニー内で、「平和のために、今、自分は何ができるのか？」をテーマに各セクターで活躍するスピーカーが集結し、ダイアログ（対話）を重ねました。

サミットのまとめとしてPCVが普段からワークショップで行っている「平和×〇〇」をそれぞれの登壇者が発表しました。

ダイジェスト動画「コモンズピースサミット2023」<https://youtu.be/L77tdHSMMUA>

（敬称略）

平原依文（HI合同会社社長）「平和×教育」 / 佐々木茂喜（オタフクHD社長）「平和×お好み焼き」 / 松本好一郎（外務省地球規模課題総括課長）「平和×外交の底力」 / 三宅紘一郎（ナオライ株式会社代表取締役社長）「平和×生産力」 / 住岡健太（NPO法人PCV 専務理事）「平和×仕事」 / 渋澤健（コモンズ投信株式会社会長）「平和×そうぞう」

【第14回コモンズSEEDCap応援先の推薦を受付中】

現在、第14回コモンズSEEDCap（シードキャップ）の選考期間中です。

コモンズSEEDCapの推薦は「投票制度」ではありませんが、みなさまから頂戴した推薦とその理由は、全社員による選考や、最終選考委員会の討議においても大変重要な判断材料になります。ご家族で複数口座をお持ちの方は、ぜひお一人おひとりでご推薦ください。

4月12日には最終候補者対談イベントも開催しました。

参加者の方からは「具体的な寄付候補先の情報に初めて触れたことで、コモンズ投信の取り組みについて実感することができた」といったご感想もいただいています。

<https://www.youtube.com/live/bKn7A29oVBs?feature=share>

※推薦の締め切りは<5月15日（月）>です。

※対象の方（2023年3月末時点でコモンズ30ファンドを保有されていた方）には、4月15日と5月3日にお送りしたメールの中に推薦フォームのリンクを記載しております。

ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

コモンズ平和ジャーニー@広島

参加したのは、息子に戦争の悲惨さを勉強してもらうためでした。しかし、裏切られました。私自身が大変勉強になりました。広島で平和について語るのは本当良いことだと思います。貴重な2日間でした。(50代・男性)

広島の印象は、毎年8月6日にテレビ放送される平和記念式典を見るたびに、過去に起こった悲惨な出来事の犠牲者の霊を慰めることばかりだと私は思っていた。

第13回社会起業家フォーラムにオンラインで参加して、NPO法人PCVのことを初めて知ることが出来た。ロシアによるウクライナの軍事的現状変更が実行され、かつ核による威嚇が行われている時だったので平和について知りたくなった。またPCV×コモンズ平和ツアー（オンライン）にも参加しPCVの活動についてより深く興味を抱くようになり、今回コモンズ平和ジャーニー@広島参加しました。

コロナ禍のいろいろな規制が解除され、普段の日常に戻りコモンズ投信メンバー・PCVスタッフ・PCVバディ・われわれ参加者が対面で会話し、相手を見ながらまた感情を感じながら行動出来たことは素晴らしい体験だった。

PCVの活動が、広島で平和を未来に向けて創っていることを肌で感じる事が出来た。

コモンズピースサミット前夜祭「平和×未来」では、イブンさんの「境界を溶かす」という発言が印象に残っている。

参加できて大変良かった。

ありがとう！コモンズ投信さん（60代・男性）

コモンズピースサミット2023@広島

「平和を創っていく」ことをジブンゴトとして一人ひとりがそれぞれの視点で取り組んでいけることを、会場全体で共有できた素晴らしい時間だったから。(40代・女性)

今年の寄付先はだれに？第14回コモンズSEEDCap最終候補者3者対談イベント

コモンズさんの枠組み、馬越さんのハーモニアスな進行でないと、こういうソーシャル活動の対談型イベントって難しいのかなと感じるほどに、良い雰囲気&内容充実の会でした！（30代・男性）

コモンズの視点～企業のみカタ～ リンナイのご紹介

自社のことのように語られていて、そこまで思いを込めた会社に投資をしていることに安心しました。(50代・女性)

R&Iファンド大賞受賞！コモンズ投信運用報告会

月報など文書を読むだけでしたが、セミナーを視聴して改めて、伊井社長の説明は簡潔明瞭で印象深く感じました。(60代・男性)



お知らせ

Pick Up! セミナー

最新のセミナー情報は commons 投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>

◆2023年4月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/kWPX4shRTP8>

□投資信託発祥の地、エジンバラの運用会社と語る長期投資の醍醐味

5月31日（水）19:00～20:30



くつろぎ座談会

commons の新サービスについて



□【受益者限定！】くつろぎ座談会

5月19日（金）18:00～21:00

□【オンライン | 受益者限定！】新サービスに関する座談会

5月21日（日）9:00～10:00

□子ども金融セミナーお金の4つの使い方

5月2日（火）19:00～19:40

□新NISAの活用方法

5月15日（月）20:00～20:30

□ commons の視点 ～企業のカタ～
UACJのご紹介

5月24日（水）20:00～20:30

☆アーカイブ動画を [YouTube「COMMONSTV」](#) にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆

・「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



販売会社一覧

| 販売会社名称 | 登録番号等 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
|----------------|----------------------------------|---------|---------------------|---------------------|----------------------------|
| ソニー銀行株式会社 | 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第578号 | ○ | ○ | | ○ |
| PWM日本証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第50号 | ○ | | | ○ |
| 楽天証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マネックス証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社SBI証券※1 | 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号 | ○ | ○ | | ○ |
| 株式会社秋田銀行※1 | 登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第2号 | ○ | | | |
| 株式会社足利銀行 | 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第43号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社栃木銀行※1 | 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第57号 | ○ | | | |
| 株式会社横浜銀行※1 | 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第36号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社イオン銀行※1 | 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第633号 | ○ | | | |
| 株式会社北海道銀行※1 | 登録金融機関 北海道財務局長 (登金) 第1号 | ○ | ○ | | |
| 岡三証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第53号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社静岡銀行※1 | 登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第5号 | ○ | ○ | | |
| 静銀ティール証券株式会社※2 | 金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第10号 | ○ | | | |
| 株式会社福岡銀行※2 | 登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第7号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社熊本銀行※2 | 登録金融機関 九州財務支局長 (登金) 第6号 | ○ | | | |
| 株式会社十八親和銀行※2 | 登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第3号 | ○ | | | |
| 株式会社百五銀行 | 登録金融機関 東海財務支局長 (登金) 第10号 | ○ | ○ | | |
| 松井証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号 | ○ | ○ | | |
| 野村證券株式会社※2 | 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

| 販売会社名称 | 登録番号等 | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
|--|----------|-----------------------|---------|---------------------|---------------------|----------------------------|
| 浜銀TT証券株式会社※2 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第1977号 | ○ | | | |
| FFG証券株式会社※2 | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長 (金商) 第5号 | ○ | | | ○ |
| 株式会社京葉銀行※2 | 登録金融機関 | 関東財務局長 (登金) 第56号 | ○ | | | |
| 株式会社十六銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長 (登金) 第7号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社鳥取銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長 (登金) 第3号 | ○ | | | |
| tsumiki証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第3071号 | ○ | | | |
| 百五証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長 (金商) 第134号 | ○ | | | |
| auカブコム証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第61号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| PayPay銀行株式会社※1 | 登録金融機関 | 関東財務局長 (登金) 第624号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長 (登金) 第6号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社七十七銀行※2 | 登録金融機関 | 東北財務局長 (登金) 第5号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社伊予銀行※2 | 登録金融機関 | 四国財務局長 (登金) 第2号 | ○ | ○ | | |
| 四国アライアンス証券株式会社※2 | 金融商品取引業者 | 四国財務局長 (金商) 第21号 | ○ | | | |
| 京都信用金庫 | 登録金融機関 | 近畿財務支局長 (登金) 第52号 | ○ | | | |
| 株式会社佐賀銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長 (登金) 第1号 | ○ | ○ | | |
| LINE証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第3144号 | ○ | | | |
| 株式会社山梨中央銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長 (登金) 第41号 | ○ | | | |
| SMB C日興証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社大垣共立銀行※2 | 登録金融機関 | 東海財務局長 (登金) 第3号 | ○ | ○ | | |
| OKB証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長 (金商) 第191号 | ○ | | | |
| 株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)※1 | 登録金融機関 | 関東財務局長 (登金) 第10号 | ○ | ○ | | |

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

| 販売会社名称 | 登録番号等 | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
|---|----------|-----------------------|---------|---------------------|---------------------|----------------------------|
| アイザワ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商) 第3283号 | ○ | | ○ | |
| 東海東京証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長 (金商) 第140号 | ○ | ○ | | ○ |
| スルガ銀行株式会社※1 | 登録金融機関 | 東海財務局長 (登金) 第8号 | ○ | | | |
| 九州FG証券株式会社※1 | 金融商品取引業者 | 九州財務局長 (金商) 第18号 | ○ | | | |
| 株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)※1 | 登録金融機関 | 九州財務局長 (登金) 第3号 | ○ | | | |
| 株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)※1 | 登録金融機関 | 九州財務局長 (登金) 第2号 | ○ | | | |

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

| | |
|-----------------|---|
| 株価変動リスク | 当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。 |
| 流動性リスク | 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。 |
| 為替変動およびカントリーリスク | 外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。 |



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

| | |
|---------------|---|
| 購入時手数料 | (コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3% (消費税込) が上限となっております。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 運用管理費用 (信託報酬) | ファンドの純資産総額に年税込1.078% (税抜0.98%) を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| その他の費用・手数料 | 当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。 |



お申込みメモ

| | | |
|-----|-------------|--|
| その他 | 商品分類 | 追加型投信/内外/株式 |
| | 信託設定日 | 2009年1月19日 |
| | 信託期間 | 無期限 (ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります) |
| | 分配方針等 | 毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 |
| | 購入単位 | 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。 |
| | 購入価額 | 購入申込日の翌営業日の基準価額 |
| | 換金単位 | 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。 |
| | 換金価額 | 換金申込日の翌営業日の基準価額 |
| | 申込締切時間 | 購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。 |
| | 換金代金の支払い開始日 | 換金申込日から起算して5営業日 |



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>